



2012年(平成24年) 7月発行 No.56

福岡県高齢者福祉生活協同組合  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23  
サカタビル2F  
TEL (092) 282-1431 FAX (092) 282-1433  
発行責任者：理事長 宮田 育郎  
編集責任者：ひやくさい広報委員会  
Email : ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協 福岡 

組織として生まれたのはイギリスですが、いまから一六八年前（日本では二宮尊徳が報徳社を創った頃）のことです。当時、イギリスは世界最大の資本主義国家であり国民間に貧富の格差が広がり、農民は疲弊して都市へ流出し、都市では低賃金労働に苦しむ労働者が溢れて社会は不安定な時代でした。そんな時代背景のなかで協同組合が生まれ、それを作つたのは僅か二八人の労働者たちでした。協同組合建設の波はイギリス全土からやがてヨーロッパ・全世界に広がり、約五〇年後（一二七年前）には世界の協同組合が集まって「国際協同組合連盟（ICA）」を結成しました。国連（国際連盟）結成より二十五年前のことであり、国際的な組織としてはICAが国連より先輩



今年は国連総会が決議して各國に呼びかけている「国際協同組合年」です。

協同組合が価値・原則をもつた組織として生まれたのはイギリスですが、いまから一六八年前（日本では二宮尊徳が報徳社を創った頃）のことです。当時、イギリスは世界最大の資本主義国家であり国民間に貧富の格差が広がり、農民は疲弊して都市へ流出し、都市では低賃金労働に苦しむ労働者が溢れて社会は不安定な時代でした。そんな時代背景のなかで協同組合が生まれ、それを作つたのは僅か二八人の労働者たちでした。協同組合建設の波はイギリス全土からやがてヨーロッパ・全世界に広がり、約五〇年後（一二七年前）には世界の協同組合が集まって「国際協同組合連盟（ICA）」を結成しました。国連（国際連盟）結成より二十五年前のことであり、国際的な組織としてはICAが国連より先輩

## 「国際協同組合年」にあたつて

理事長 宮田 育郎

格です。

そんなに長い歴史をもつた協同組合を世界の政治家たち（国連）が資本主義機構の組織としては見向きもしなかつたのに、何故、今頃になつて「国際協同組合年」と決議し、協同組合と向き合うことになつたのだろうか。国連が協同組合と積極的に向き合つた姿勢をとるようになつたのは、一九九〇年代頃からだと思います。

資本主義は優勝劣敗、カネが世の中の尺度、自分の力でモウケて何が悪い、モウケなければ努力せよ等々、生活（人間）格差が必然的に産まれる制度です。産まれる「格差」を是正したり、調整したりして国民の平等、公平、生活の安定を図るのが國家の役割でしたが、二〇年位前から、経済が諸国家を飛び越えてグローバル（貨幣がコンピューターの〇、一に変わつて百分の一、千分の一秒で世界の各地域をかけめぐる）になり、それが国家財政まで動かし、社会まで変質させて世界に混乱を引き起しているのです。こんなグローバル経済社会に危機感をもつた国連は、資本主義社会の変動に対応して、二〇〇〇年近く多種多様な協同組合を建設して市民生活の安定に貢献してきました。市民の協同組合運動を評価せざる

格です。

しかし、日本政府は東日本大震災で崩壊した漁業・農業の復興に協同組合ではなく、「会社」を導入したらという姿勢が根底にあり、国連の姿勢がから離れているのは残念です。

協同組合を組織する世界中の組合員が協同組合の事業・活動の社会的責任の重さを自覚し、掲げてきた協同組合の価値・原則・スローガン（一人は万人のため、万人は一人のため）は正しかつたと再認識している年に他人愛より自己愛の強い政治家たちを変えなければなりません。そして、「ふくし生協」を認識させる運動が必要でしよう。



2012年は国際協同組合年です  
「協同組合がよりよい社会を築きます」



# 第13回通常総代会を開催／新年度方針を決定

〈県内の総代169名が出席〉 2012年6月17日(日)

(賛成多数で採決)



六月十七日(日)、福岡市中央区天神のアクロス福岡会場に「第十三回通常総代会」が開催されました。総代会では県内事業所から総代169名が出席、「〇一一年度活動経過及び決算報告、〇二二年度活動方針案及び予算案について審議がなされ、全ての提出議案が賛成多数で承認されました。

「寝たきりにならない・しない」「元気な高齢者がもつと元気に」

総代会当日は、先日の入梅宣言にもかかわらず曇天で雨の心配なし。会場のアクロス福岡には県内から続々と組合員の仲間が参集しました。

13時に開会宣言

でスタートです。

この日の実出席者一三七名・委任

状三二名・欠席二名。出席と委任の計一六九名で本総代会は成立了。議長に宮城さん(けいちく)と隅川さん(ミナミ)を選出した後、当生協を代表して宮田理事長が挨拶、「今から二百年前にイギリスで提唱された自助・公助・共助の精神」について述べられ、「自立と自助は一緒のことであり、協同組合の自助は他者の福祉を尊重して一緒にを行うことである……。我が國の福祉政策や方向性には危惧の念を抱いている……」と熱く語られました。続いて連合会の市川会長から祝辞を頂きました。続いて稻月専務理事が登壇。第一号と第二号議案を提案し、基本構想検討委員会の主旨・目的の説明を行い、続いて若手職員四名によるこれまでのまとめが発表されました。若者らしい激励とした発表に会場は静まって感心の声多数あり。この後、組織運動分野・事業経営分野・決

議がなされ、全ての提出議案が賛成多数で承認されました。

算と予算・管理運営分野を各常務理事から報告、また監事より監査報告がありました。

休憩後、九名の方々による質疑があり、稻月専務理事がまとめて答弁され、採決に入りました。賛成者圧倒的多数で全ての議案は採択されました。また今回は、任期満了に伴う役員選出がありました。

## 『基本構想検討委員会

### 四つの発表

#### 協同組合原則「めざすもの」

(発表者・山下七五三)

私たちには理念、めざすものがあります。協同組合は個の幸せを形にする集まりであり、その集合体と考えます。同じ思いを持つ新たな組合員を呼び込むことで、その輪と絆は大きく拡がり、小さな想いは大きな夢となり力となるのです。私たちはお金のつながりではなく地域のつながりがあります。職員、利用者、地域組合員皆がともに手をたずさえ、要望や希望を実現していきます。協同組合はその媒体となりそのコーディネーターとなります。組合員の大きなねりをつくり、地域からふくらみ生協の輪を築いていきます。

これが私たちのめざすものです。

## 第八期・新役員の紹介

【理事】(二三人)

理事長 宮田 育郎(再任)

副理事長 毛利 義廣(再任)

長谷 健司(再任)

稲月 秀雄(再任)

森元 茂利(再任)

萩尾 光則(再任)

石田 禮子(再任)

林 静男(再任)

吉田 俊彦(再任)

高橋 繁男(再任)

川内 道利(再任)

竹森 俊彦(再任)

坂元 吉野(再任)

飯田富士雄(再任)

起汐 充雄(再任)

植田美佐恵(再任)

井上千代子(再任)

坂元 雅子(再任)

植田美佐恵(新任)

川内 洋子(新任)

清水 京子(新任)

日下部恭久(新任)

田代 直世(新任)

田代 直世(新任)

川内 洋子(新任)

清水 京子(新任)

日下部恭久(新任)

坂元 雅子(新任)

坂元 雅子(新任)

坂元 雅子(新任)

吉野 由美子(新任)

吉野 由美子(新任)

吉野 由美子(新任)

吉野 由美子(新任)

[\*第13回通常総代会で選出された理事で第1回理事会を開き、互選により役員体制が決まりました。]

## 職員組合員のやりがい

(発表者・安部拓治)

やりがいの一つ目は、「変化」です。私たちの使命は、これまで築きあげられたものを発展させることに加え、介護保険制度に頼らなければ複合的な事業の展開を模索し、実現していくという変化をもたらすことです。この変化を楽しむこそが、そこ、「やりがい」に他なりません。また、この変化は、私たちの待遇改善にもつながります。

やがいの二つ目は、「団結」です。この団結のためには一層の研修を設け、ふくし生協の理念、「めざるもの」の理解を浸透させることが不可欠です。

私たちは「変化」と「団結」に向かって、いつそう力を尽くします。

### 組合員参加の「宅老所ケア」とは

(発表者・安樂大輔)

介護が必要になつて、ふくし生協に関わり、必要でなくなつたらふくし生協と関わりが終わる関係ならば、ふくし生協でなくともよいのではないでしょうか。ふくし生協と他との違いをしつかりどうだし形にしていくべきです。組合員のやりがいの中でも、ふくし生協のサービスを利用しながら、引き続き『自分らしさ』をもつて暮らしていくシステムづくり、地域や組合員の思いをみんなの支え合いで叶える場が宅老所ケアです。

## 全組合員「共通」の大目標

(発表者・金井有三)

1、福祉社会の担い手としての事業体をめざす。仕事起こしや気持ちは起こしができる場所作りをしましよう。現在の活動を発展させ、子ども・高齢者が集まる場所を作りましょう。複合的な事業にも挑戦しましょう。例えば、見守り・移送サービス・介護予防活動等・農園・公園墓地・エンディング事業・託児等。

2、ふくし生協に自信や愛着を持つて、3つの取り組みを実践する。

①自らが、積極的にふくし生協の活動に参加し、語り合いましょう。

②私達の想いや願いを実現できる組織作りをしましよう。

③地域の中に小さな集まり「班」を作りましょう。



国が掲げる地域包括ケアは「施設の安心を地域へ」という耳障りのいいフレーズで、「介護の社会化」とは真逆の精神で導入されようとしています。地域に施設のピラミッド体系を持ち込むということは、何を意味するのか。医療ピラミッドの末端にある介護は、認知症等加齢を伴う疾病を対象とした「患者」のためのものです。このこ

合員としての様々な活動を通じて「生きがい・やりがい・生活」を送つていく中で、介護が必要になつても、ふくし生協のサービスを利用しながら、引き続き『自分らしさ』をもつて暮らしていくけるシステムづくり、地域や組合員の思いをみんなの支え合いで叶える場が宅老所ケアです。

第13回通常総代会では、ふくし生協設立の原点に立ち返つて「変化」していくことを提起しました。「介護が必要になった時のため」の福祉拠点づくりから「生活者の困難に向き合う（本来の）宅老所ケア」を推進する総合福祉拠点に変化する年度としよう！ということです。提起の背景には、「社会保障と税の一体改革」がなし崩しになり、消費税の増税のみが決定される流れがあり、（介護保険等の変質もあり）制度事業だけでは生活者たる組合員の支えになれないという現状（の危機意識）があります。

国が掲げる地域包括ケアは「施設の安心を地域へ」という耳障りのいいフレーズで、「介護の社会化」とは真逆の精神で導入されようとしています。地域に施設のピラミッド体系を持ち込むということは、何を意味するのか。医療ピラミッドの末端にある介護は、認知症等加齢を伴う疾病を対象とした「患者」のためのものです。このこ

とを念頭に置いた上で、私たちの宅老所ケアの中核を担う「介護ケア」の質を高める課題はいずれにせよ避けて通れないという認識が大切です。私たちは創立の精神に立ち返り二〇一二年度の大方針として、「①医療と介護の連携強化で介護（ケア）の質を高めること」、「②組合員の支えあいを具体化する安心サポートの本格的な展開に踏み出すこと」を確認しました。国策における医療・介護分野の中・長期見通しから、制度報酬を財源として「変化」に挑戦できる期間は3年間と覚悟すべきでしょう。そのような背景からも、前述2の大方針は、ふくし生協の発展に欠かせないものであり、絵に描いた餅にしてはいけない重要な課題です。総代会の質疑応答では二〇一一年度の活動を補強する活動実践報告や二〇一二年度の方針や運営に関する意見・要望など九名（石田さんは直方）・藤田さん（水巻）・百田さん（福岡東）・菅野さん（福岡西）・高田さん（夢ひろば）・桜井さん（福岡西南）・飯田さん（小倉北）・末次さん（直方）・毛利さん（帆柱）」の方々から発言をいたしましたので今後の法人運営に反映させていきたいと考えています。この一年間に掲げた大方針を共有し確実な足跡をしるすために、組合員一丸となつて取り組んでいきましょう。

## 稻月専務・討議のまとめ

### 「縛」から「協同」へ

#### II 変化への挑戦 II

老所ケアの中核を担う「介護ケア」の質を高める課題はいずれにせよ避けて通れないという認識が大切です。私たちは創立の精神に立ち返り二〇一二年度の大方針として、「①医療と介護の連携強化で介護（ケア）の質を高めること」、「②組合員の支えあいを具体化する安心サポートの本格的な展開に踏み出すこと」を確認しました。国策における医療・介護分野の中・長期見通しから、制度報酬を財源として「変化」に挑戦できる期間は3年間と覚悟すべきでしょう。そのような背景からも、前述2の大方針は、ふくし生協の発展に欠かせないものであり、絵に描いた餅にしてはいけない重要な課題です。総代会の質疑応答では二〇一一年度の活動を補強する活動実践報告や二〇一二年度の方針や運営に関する意見・要望など九名（石田さんは直方）・藤田さん（水巻）・百田さん（福岡東）・菅野さん（福岡西）・高田さん（夢ひろば）・桜井さん（福岡西南）・飯田さん（小倉北）・末次さん（直方）・毛利さん（帆柱）」の方々から発言をいたしましたので今後の法人運営に反映させていきたいと考えています。この一年間に掲げた大方針を共有し確実な足跡をしるすために、組合員一丸となつて取り組んでいきましょう。

# 〈日本高齢者生活協同組合連合会〉 第11回通常総会(福岡総会)開催 全国22団体・100名の代議員・傍聴人集う

6月2日(土)  
福岡市中央区  
九電ビル共創館



(開催地歓迎挨拶・宮田理事長)

## 高齢協運動の使命と未来を展望し、 全国連帯の価値を深めあおう

6月2日(土)福

岡市中央区の九電  
ビル共創館を会場  
に標記総会が開催  
されました。出席

代議員は46人中38  
人で、理事会が提  
案した7議案と、

大阪の薄井代議員  
が提起した修正案  
は全員一致で採択  
されました。発言主

は13人でした。  
以下は発言主旨  
です。①薄井代議  
員・第5号議案「定

款変更の件」の修正の提案②田中  
代議員・紀伊半島の水害について  
の報告と御礼について③長尾代議  
員・震災支援のお礼と宮城高齢協  
の中期ビジョンについて④松本代  
議員・東京高齢協の新しい取り組  
み(高齢者の見守りサポート)・

について⑤菅原理事・  
東日本大震災支援(山  
形高齢協の取り組みと  
お願い)について⑥松  
田代議員・三重高齢協  
のたたかうケアマネと  
ケアワーカーについて  
⑦平野代議員・東日本  
大震災支援の御礼につ  
いて⑧若井代議員・協  
同労働と働いていない  
組合員のニーズの掘り  
下げについて⑨富樫代



(連合会・市川会長)

議員・会計  
実務テキス  
ト作成委員  
会の報告に  
ついて⑩鏡

代議員・第  
4号議案の  
3部会と予  
算案とのリ  
ンクについ

て⑪長誠一さん・京都高齢協の現  
状と生協法人化に向けた取り組み  
について⑫安楽大輔さん(福岡高  
齢協)福祉部会のテキスト作成の  
報告について⑬山崎代議員・愛知  
高齢協の保見ヶ丘ケアセンター、  
守山あまこだ、たまり場庄助の取  
り組みと連合会へ学校法人取得で



(連合会・坂林専務)

**基調提案(稻月秀雄・福岡高齢協)**  
**「宅老所ケア」を発展させよう**

6月3日

私たちには協同組合という枠組みで  
その願いや想いをつないでいく構  
えです。

具体的には『宅老所ケア』は「24  
時間三六五日の支え合い」を基本  
方針とし、三つの実践を展開して  
いきます。①福祉拠点の「ケアの  
質」向上や相談窓口としての役割  
などの充実②看取りまでを視野に  
いた医療などとの連携③介護だ  
けではない日常生活の困りごとを  
支えあう取り組み:を掲げて、そ  
の方針を確認しあいながら、学  
習や交流の機会と実践経験を積み  
重ねて発展させましょう。

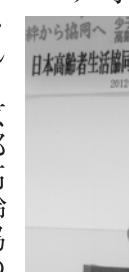
『宅老所ケア』は、地域運動とし  
て全国に広がった宅老所(私たち  
の福祉拠点や同様の願いや想いで  
立ち上がった事業拠点を含む)を  
協同組合という枠組みで「働くも  
の」・「地域で生活するもの」・「介  
護サービス等で利用するもの」、そ  
して「地域」にとって欠かせない  
社会資源として永続発展させよう  
(させたい)という「方針の総称」  
です。各地に誕生した宅老所が、  
世代を超えて地域に根付くために、

組合員のニーズの掘り  
下げについて⑨富樫代  
議員のニーズの掘り  
下げについて⑩鏡代  
議員のニーズの掘り  
下げについて⑪長誠  
一さん・京都高齢協の現  
状と生協法人化に向けた取り組み  
について⑫安楽大輔さん(福岡高  
齢協)福祉部会のテキスト作成の  
報告について⑬山崎代  
議員・愛知高齢協の保見ヶ丘  
ケアセンター、守山あまこだ、た  
まり場庄助の取り組みと連合会  
へ学校法人取得で

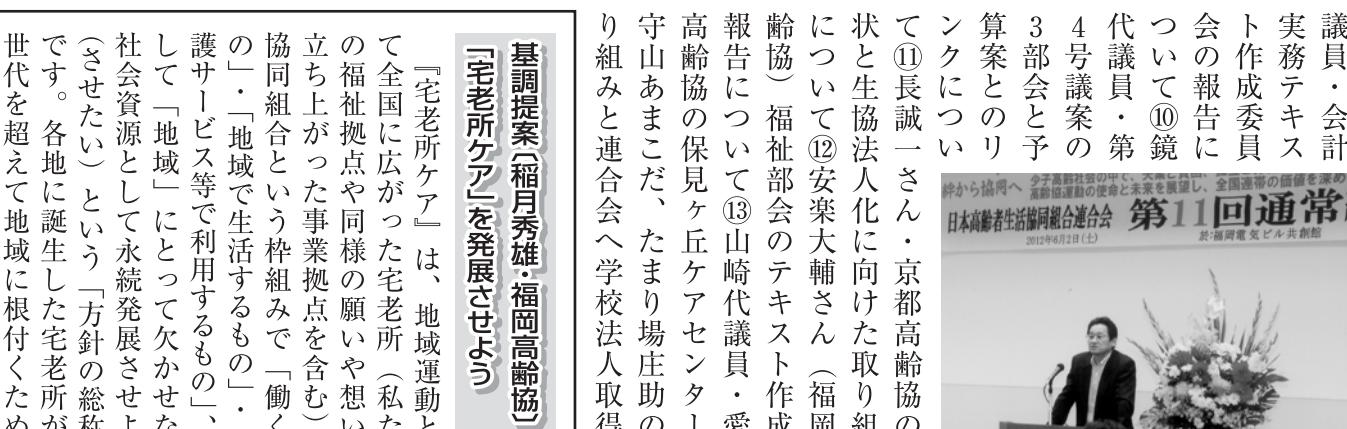
介護福祉士の実技講習の全国展開  
要望と来年の「愛知総会」について  
第6号議案:役員選挙の件は、  
立候補者が定数内であつたために  
選挙は行わず、全員当選となつて  
います。

## 第一回理事会「連合会」

第一回理事会を6月2日の総会  
議案採択後に実施し、23名中22名  
の出席で、三役等の選出を行いま  
した。会長理事に市川英彦、副会  
長理事に鈴木友子・藤田徹、専務  
理事に坂林哲雄、常任理事に菅原・  
高見・田尻・藤井・上森・曾我・  
稻月(以上候補を含む)です。



(連合会・坂林専務)



(連合会・坂林専務)



千代事業所



千代事業所



千代事業所



夢ひろば事業所



夢ひろば事業所



夢ひろば事業所



夢ひろば事業所



小倉北事業所



小倉北事業所



小倉北事業所



小倉北事業所



小倉北事業所



小倉北事業所



三重県健康福祉生協



三重県健康福祉生協

百人以上の参加者が集まり、パワーポイントが大活躍。報告として高知県「デイの取組み」、岡山県「ピヨピヨ広場の子育てと認知症対応型デイ」、長野県「指定管理者としての運営」、福岡県「宅老所よりあい」の四件があり、それぞれQ&Aの対応がありました。

▼第二分科会は「医療連携と看取りについて」。介護の先には看取り（人生の最後の場面）があり、避けては通れない取組みについて専門の医師を交えての論議。新潟県「認知症フルステージの地域ケア」、山形県「地域の協同と連帯の力」、和歌山県「元気シニアによる障害者団体のサポート」。

福岡県「豊かな生を最後まで支える看取りの支援」の四件。

▼六月三日（日）の午前の部は、宅老所ケアについて三つの視点をメインテーマにして、三つの分科会（パネルディスカッション）を実施しました。

▼第一分科会は「福祉拠点の役割」。

▼第三分科会は「組合員・社会資源とのつながり」。地域資源を大いに活用して、組合員と共に地域で生活し、地域のつながり・支え合いが大切と論議を深めました。大阪府「お助け隊と安心サポート事業」、兵庫県「福祉用具の事業展開」、岩手県「模索が続く復興支援」、福岡県「地域後見の推進」主役は市民後見人」、様々な助け合い、

地域まるごとのネットワークの必要性が語られました。

▼三つの分科会の中で、第一分科会で述べられた下村恵美子さんの「実践報告」が印象に残りましたので、その内容を要約いたします。

福岡市中央区にある「宅老所よりあい」は、今から21年前に始まり「宅老所」の草分け的存在として全国的に知られており、彼女はその事業所の代表です。「宅老所」は、行政の制度上の名称ではない。困っているお年寄りと家族の実状に合わせながら少しづつ形にし

てきた地域での手作りの取り組みであり、現場実践から生まれた名称である。・宅老所が営利目的の事業所とどう違うのか、コトバでは示せない。実践して初めて分かるし、実践の中身で違いて分ける以外にない。

・泊りはサービス事業とは位置づけていない。あくまでも家族の危機を乗り越える支援と考えている。

・介護保険で家族が介護から切り離されている実態がある。家族が介護を感じることが必要と考える。今、問われているのは、地域で孤立・孤独の高齢者をどう解消するかということ。介護職員が中心ではなく、高齢者同士の関係づくりを橋渡しすることが役割だ。・いろんな人がサポートとして宅老所を支えていただきたい」と熱く語られました。

（取材・長谷 健司）



## 6月3日(午前の部)分科会 『宅老所ケアについて三つの視点』

笑顔写真  
コンテスト  
入選作品

県内60点

県外11点



岩手県高齢者福祉生協



岩手県高齢者福祉生協



三重県健康福祉生協



三重県健康福祉生協



三重県健康福祉生協



愛知県高齢者生協



愛知県高齢者生協



ささえあいコミュニティ生協新潟



ささえあいコミュニティ生協新潟

つぶやいたー  
還暦を目前にして更年期障害に!!  
漢方薬飲んでいます。



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



夢ひろば事業所



宗像・福津事業所



(博多笑い塾「博多にわか」)



(日舞「黒田武士」)



(力強い青龍太鼓)



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所

午後一時から会場を「ホテルニユーオータニ博多・芙蓉の間」に移して、参加者全員による「交流パーティ」を開催しました。会場は全国高齢協代表の仲間や当ふくし生協の組合員・利用者さん・職員など約四〇〇名の参加で熱気ムンムンの大入りで満席状態。

オープニングは地元の「青龍太鼓」。そのバチさばきと音は会場一杯勇壮に響きわたり、出席者の度肝を抜いてパーティの開始を告げました。そして地元を代表して宮田理事長が「博多にようこそ! 最後まで楽しんで下さい」と挨拶。続いて市川連合会会长が祝辞を述べられ、長谷実行委員長の乾杯の音頭で祝宴に入りました。各テーブルには美味しい料理が次々と運ばれ、和やかに歓談の輪が拡がり、会話が弾みました。

この後はアトラクション。福岡事業所(西南)から日舞「黒田武士」を披露しました。

続いて、参加者全員による「交流パーティ」を開催しました。会場は全国高齢協代表の仲間や当ふくし生協の組合員・利用者さん・職員など約四〇〇名の参加で熱気ムンムンの大入りで満席状態。

オープニングは地元の「青龍太鼓」。そのバチさばきと音は会場一杯勇壮に響きわたり、出席者の度肝を抜いてパーティの開始を告げました。そして地元を代表して宮田理事長が「博多にようこそ! 最後まで楽しんで下さい」と挨拶。続いて市川連合会会长が祝辞を述べられ、長谷実行委員長の乾杯の音頭で祝宴に入りました。各テーブルには美味しい料理が次々と運ばれ、和やかに歓談の輪が拡がり、会話が弾みました。

この後はアトラクション。福岡事業所(西南)から日舞「黒田武士」を披露しました。

## 6月3日〔午後の部〕

### 組合員交流パーティ



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所

士」を披露、地元らしい見事な舞です。

次は水巻事業所から、日頃実施しているデイ利用者さんへのサーカスの一曲「赤とんぼ音頭」が披露され、そのユーモラスな踊りとスタッフの衣裳と仕種に大きな拍手が寄せられました。

次に登場は、ふくし生協2事業所から選抜の「合同コーラス」。毎日の忙しい仕事の合間にぬつての練習だったそうですが、江藤健二さん指導のもと、美しいその声量で2曲を披露、会場は静まつて聴き惚れていきました。練習の成果が充分發揮されたコーラスに、心が洗われる思いがしました。

アトラクションの後はお馴染み「福祉川柳コンテスト」と「笑顔写真コンテスト」の結果発表です。

次は水巻事業所から、日頃実施しているデイ利用者さんへのサーカスの一曲「赤とんぼ音頭」が披露され、そのユーモラスな踊りとスタッフの衣裳と仕種に大きな拍手が寄せられました。

次に登場は、ふくし生協2事業所から選抜の「合同コーラス」。毎日の忙しい仕事の合間にぬつての練習だったそうですが、江藤健二さん指導のもと、美しいその声量で2曲を披露、会場は静まつて聴き惚れていきました。練習の成果が充分發揮されたコーラスに、心が洗われる思いがしました。

アトラクションの後はお馴染み「福祉川柳コンテスト」と「笑顔写真コンテスト」の結果発表です。



宗像・福津事業所



(お楽しみ抽選会)



(美しいコーラス)



(水巻・赤とんぼ音頭)



水巻事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



宗像・福津事業所



直方事業所



直方事業所



直方事業所



# 事業所だより

開設して四ヶ月…  
小倉北事業所  
(テイサービス  
しのぞき)

以前、私の勤務していたデイの利用者さん数人が「しおざき」開設と同時に利用者として来所。

興味深々で熱心に聞き入つておられる姿が印象的でした。

五月に入つて利用者さんが三名増えました。皆さんに喜んで頂けるように毎日が勉強の日々…。

(記・東 喜美子)

「赤とんぼ音頭」  
水巻事業所(赤とんぼ)

当事業所名物、赤とんぼ音頭は「デイサービスの一日の締めくくり」として、帰りの時間に職員が踊り送り出すのが習慣となっていました。利用者さんに唄つてもらいい、特に新人職員を中心に笑い声とともに締め括つていたのです。

しかし、最近ではディサービス  
が二つに増え、三つに増えてお泊  
りホームができた：そんな多忙の  
中、少しづつこの曲が聞こえなく



### (フェスタ会場の赤とんぼ音頭)

「按摩ザ按摩、いいつゝ」

「按摩ザ按摩、いいつ」  
宗像・福津事業所(たんぽぽ)  
5月末の金曜日、ご利用者Uさんがテレビを見ながらたいくつしておられる所にやつてきた坂口副所長、「あー痛た! ちょっとUさん私の腰を揉んじゃらんネ」。Uさんは言われるままに腰を上手に揉みほぐしました。

に各テイサーヒアで赤とんぼ音頭の歌が聞こえています。  
今後も初心を忘れずに、誇りを持って赤とんぼ音頭を踊り続けていきたいと思います。  
みなさんの応援をよろしくお願ひいたします。

なりました。職員の中には、この曲を知らない人も出てきて寂しいばかりです。

つて、正にこの日は按摩三昧の後でよく考えてみるところは坂口副所長の一石二鳥の効果を狙った「高度の介護テクニック」だつたかも？もし、それが本当なら「スゴイ!!」と言わざるを得ませんが、真相はいかに？  
いつの日か本音を聞いてみたいのです。

(記・安部 拓治)

本音を聞いてみたい  
(記・安部 拓治)

坂口はハレの日は按摩三昧のつて、正にこの一日でした：と思つたのですが、後でよく考えてみるとこれは坂口副所長の一石二鳥の効果を狙つたかも？もし、それが本当なら「スゴイ!!」と言わざるを得ませんが、真相はいかに？

「にぎわい畑は大賑わい」  
嘉飯事業所(にぎわい荘やまだ)  
  
「にぎわい  
荘やまだ」では、  
野菜や草花、  
米作りを始め  
ました。今年  
が初挑戦です。  
土壌作りや育  
て方など、近  
所の方や利用者様・職員と一緒に教わ  
りながら育てています。日に  
樂しみながら育てています。日に  
成長する畑の野菜や稻に感動  
しています。にぎわい畑が近所の  
方やご家族との交流の場になり、  
普段の会話がより近く感じられて  
嬉しく思います。

種モミは一粒づつ並べて苗代作  
り、「早く芽を出せ○○○○○」  
と語りかけて大事に育てており、  
職員と利用者様はまるで「サルカ  
ニ合戦」のカニのようで、微笑ま  
しい限りです。秋に収穫出来れば  
ご飯茶碗一杯分のお米になります  
ので、皆で分け合って自分達で作  
ったお米の味をかみしめたいと思  
っています。



## 「にぎわい畑は大賑わい」 嘉飯事業所(にぎわい荘やまだ)

「にぎわい  
荘やまだ」では、

野菜や草花、  
米作りを始め  
ました。今年  
が初挑戦です。

の作業も気分転換になつて精神的にとても良い様です。大事に育てていこうと思つていて、念願の収穫の日まで楽しみながら育てていこうと思つています。

(記・大田 明日香)

## 「ヘルパー二級講座」開講 ぬくもり事業所

ぬくもり事業所

当ぬくもり事業所では、5月10日より「ヘルパー二級講座」が16名(男性5名、女性11名)の参加で始まりました。週二日の講義で8月10日まで3ヶ月の予定です。

ヘルパーさんの不足を補う目的で開講準備しましたが、受講生の応募が少なく、二回延期して三度目の正直で開講できました。

今回の受講生の中で、一人でも二人でも「ぬくもり」のヘルパーとして稼動していただけるよう声かけをしていきたいと思います。

この四月から医療も介護も改定され、保険料・利用料はアップしました。現在のところは、利用料はアップし

・所在地は久留米市国分町102番地の2  
・土地150坪にデイサービスとシエアハウス2棟があります。

・体制としては久留米事業所長の今林所長と本部事務局の安楽さん

が事務長としてがんばっています。  
今後ふくし生協の筑後地区の新たな拠点となるように、これから展開に期待が寄せられています。

(記・林 禮子)

皆さんで一つの事を楽しみにする事は気持ちも一つになり、外で

ましたが、ヘルパーの訪問時間は短くなりました。在宅ケアには欠かせないヘルパーさんは足りず皆フル稼動していますので、もっとゆとりを持って訪問できるよう仲間を増やしていくと思います。

(記・清水 京子)

## 「くくぶの杜」が ふくし生協の仲間に!

くくぶの杜

昨年五月から移転物件を探し準備を進めてきました。「新・青葉もやいの家」が改築工事も終わり、5月28日移転完了。6月10日(日)11時、地元関係者や職員など約60余名が集い、賑々しく新たな門出を祝いました。



## 「新・青葉もやいの家」 新装移転開所式 青葉事業所

(取材・西田 治)

# 本部事務局 だより

## 職員互助会(結の会) 四月・五月・六月の活動報告 (6月20日現在)

前号(4月No.55号)でお知らせしましたふくし生協職員互助会(結の会)の動きにつきまして、簡潔に報告いたします。

### 一、給付・貸付状況について

・給付件数:四月は23件、五月は12件、六月は2件の計37件で七十二万二千円。

・給付内容:入学祝い8件、資格取得祝い21件、死亡弔意3件、退会餞別4件、結婚祝1件とな

っています。

・貸付件数:四月は7件、五月は6件、六月は2件の計15件で二百六十六万円

### 二、加入状況について

・職員総数:六二七名(常勤一九八名・非常勤四四七名)

・加入者数:五八三名(常勤一九五名・非常勤四〇六名)

・未加入者:四四名(常勤三名・非常勤四一名(休九))とな

なっています。

二)・非常勤四一名(休九)となっています。

### 三、勤続祝い対象者(三月末現在)

10年勤続・5年・3年・1年の方々  
(常勤+非常勤)合計一六四名。  
(報告・ふくし生協職員互助会)

「結の会」会長 松本憲一

在活躍され

## ふくし生協の求職者支援訓練 【福岡講座】報告

### 【福岡講座】報告

二月十三日に開講した求職者支援訓練福岡講座の修了式が五

月十一日に行われました。長谷副理事長から修了証の授与が行われ、これから介護職に就き現場で活躍する受講生へ祝辞と激励の言葉が述べられました。ま

た、ふくし生協の職員として2名の修了生を採用、デイサービススミナミ、宅老所たんぽぽで現

運営します。

これからも求職者支援訓練を通じて新たな人材育成に取り組んでまいります。

(本部・山下 敦史)



ております。  
日から新た  
な福岡講座  
が開講し、  
現在受講中

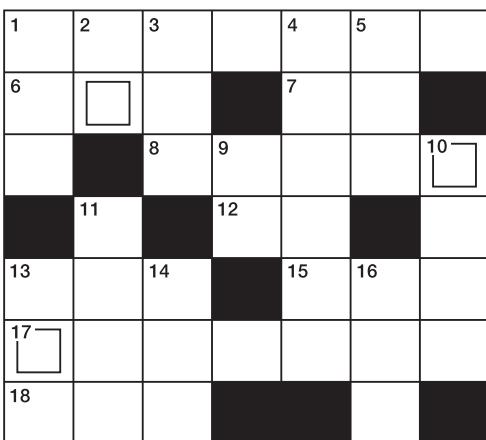
### 隔月発行と広報委員会に決定!

「ひやくさい」編集委員会は、平成22年8月理事会でその設置が承認され、理事会付託による委員会として活動してきたことは皆様周知のとおりです。この度、5月と6月の委員会では、長年の懸案であった隔月発行(年六回)と、委員会の名称を「ひ

やくさい広報委員会」に変更することを決めて理事会に提案、承認されました。

これからも委員一同、読者参加型の誌面作りと内容の充実に心がけてまいります。ご支援下さい。「ひやくさい広報委員会」

# クロスワードパズル



6

▼タテ、ヨコの『カギ』に従つてマス目に言葉を入れてください。すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べ替えて、『ヒント』にふさわしい言葉を作つてください。  
それが答えです。

1 夏らしくなること。「○○○く」。  
2 「レディ・○○」。代表曲、ボーン・ディス・ウェイなど。  
3 詩と短歌。  
4 本の表は「表表紙」、その裏面は「○○○○○○」。  
5 コットンのこと。  
9 さつぱりとして、いやみのないさま。  
10 あかぬけがしている様子。  
11 現代、夏にはこれが欠かせません。  
12 長野県中部にある松本盆地のうち、梓川・犀川の西岸から高瀬川流域の最南部にかけて広がる扇状地。  
13 「西瓜」と書く。  
14 有利な点。また、長所。好都合な点。  
15 「パリが東京なら○○○は関西。フランス第2の都市。」

16 17 18 「ビールの○○○さん」。  
模造品、まがいもの。にせもの。  
ヨハン・パッヘルベルの○○○、  
バロック時代の作品。現代でもしばしば使われる。

〈ヒント〉 19世紀末に誕生した。  
お年寄りから子どもまで楽しめます。

## 読者の声

▼「好きなまちでいきいきと暮らしたい」ひやくさいの素晴らしさをあらためて見直しました。55号にしてやつと気づいた失礼をお許しください。これからは性根を入れて愛読いたしますから…。

(遠賀郡水巻町・ベンネーム 水巻 太郎)

▼「帆柱の家あかね」で母が大変お世話になりました。歌つたり、踊つたりと楽しく過ごさせていただきます。感謝しています。

(八幡東区・北島 律子)

▼55号の「街かど探訪」記事が、地元のことなのでとても面白かったです。「のどか」の書が地元の書家の方と初めて知りました。

(八幡東区・安部 木実)

でお世話になっています。夫の髪は立つて搞んでいますが、小柄な義母の髪を摘む時は、私も椅子に掛けます。

『十年は経ちおり夫の散髪は

今では義母の白髪も摘む』

(京都郡苅田町・佐々木 礼子)

▼百歳迄、いきられるかどうか判りませんが現在79歳。水巻町シルバー事業C班で頑張っています。

(遠賀郡水巻町・上川 太吉)

### 『タテのカギ』

1 夏らしくなること。「○○○く」。

2 「レディ・○○」。代表曲、ボーン・ディス・ウェイなど。

3 詩と短歌。

4 本の表は「表表紙」、その裏面は「○○○○○○」。

5 コットンのこと。

9 さつぱりとして、いやみのないさま。

10 あかぬけがしている様子。

11 現代、夏にはこれが欠かせません。

12 長野県中部にある松本盆地のうち、梓川・犀川の西岸から高瀬川流域の最南部にかけて広がる扇状地。

13 「西瓜」と書く。

14 有利な点。また、長所。好都合な点。

15 「パリが東京なら○○○は関西。フランス第2の都市。」

### 『ヨコのカギ』

1 夏の風物詩。通常、竹を用いる。

2 動物の雄と雌の一組。

3 その多くが美しく、獨特の形。

4 景気の後退により消費者の「○○○○○」が鮮明になる。

5 花を咲かせる。

6 その多くが美しく、獨特の形。

7 景気の後退により消費者の「○○○○○」が鮮明になる。

8 花を咲かせる。

9 むなしのこと。からなこと。

10 対義語は「実」。

11 「つれずれるままに、日くらし

12 「つれずれるままに、日くらし

13 「つれずれるままに、日くらし

14 「つれずれるままに、日くらし

15 「つれずれるままに、日くらし

16 「つれずれるままに、日くらし

17 「つれずれるままに、日くらし

18 「つれずれるままに、日くらし

◆前回の答は「ララバイ(子守り唄)」でした。正解者多数につき抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。

1 水巻 太郎さん(水巻町)  
2 北島 律子さん(八幡東区)  
3 安部 木実さん(八幡東区)  
4 佐々木礼子さん(刈田町)  
5 上川 太吉さん(水巻町)

【相談窓口】の愛称募集  
先の総代会で承認されました。今年度活動方針「ふくよか安心サポートネット事業」の多様な実践の一つ「介護・福祉相談窓口」を設置するにあたり、その愛称を公募します。詳しくは、本部から全事業所へ通達の募集要項を参照の上、ご応募ください。後日、選考委員会で決定する予定です。

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきに書いて、「ふくよか安心サポートネット事業」まで広報委員会クロスワードパズル係まで8月15日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

つぶやいたー

田形ハゲ見つけた! 既にうぶ毛が生えている。真剣に悩んでいた私が愛しい!!

## みんなの文芸広場



八色敬子(夢ひろば職員)



山田安子(水巻町)

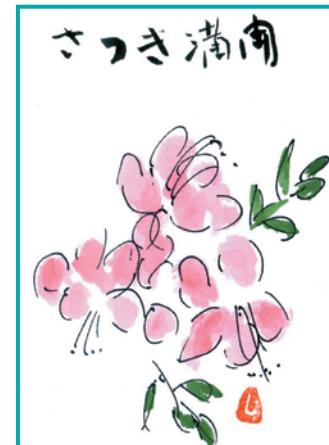
ご投稿ありがとうございます。  
今回は、絵手紙・川柳です。



松岡須賀子(折尾)



三笠郁枝(水巻町)



岩見静子(水巻町)



三浦弘子(水巻町)

六月三日のフェスタに参加された  
「けいちく事業所」の皆さん的作品

孫うまれ笑いたえない我が家かな  
田植えどきモンペ姿は似合うかな  
太鼓の音心にひびきリフレッシュ

目をさました今日も無事だと手をあわせ  
こにくたらしへまをして笑う母の顔  
(雲上ながめ人)  
(ブタ子)

夏が来たへソ出して寝てかぜひいた  
春のせい花粉がとびちらくしやみ出る  
秋の気候春とそんなに変わらない  
(かじさあや)  
(沈太陽)

ほのぼのに後ろ髪ひかれフェスティバル  
全国の介護者集うフェスティバル  
レセプション和氣あいあいと語りあう  
ママいくつ息子に言えず若づくり  
夜回りのホタル追われて火の用心  
(超若づくり)

ふと気づくあなたのモノ真似しているわ  
初孫の成長見れる老いたパパ  
(みせすりばんど)  
苦しみを多く知るほど笑顔かな  
丸なのがどんな形か人心  
折り鶴に願う間もなき命かな  
(万華鏡)

夏休みまた会える日を待っています  
(カンドミカ)

長年の懸案であつた広報誌の隔月  
会(年六回)発行を決定、五月の理  
事会で承認されました。委員会が  
本部事務局を巻き込んで、これまで  
以上に多忙になることは目に見  
えていますが、組織の強化発展の  
為には避けでは通れない大きな課  
題(リスク)でありました。

▼「ひやくさい」は読者が参加し  
て作る唯一の広報誌です。  
皆様からの投稿や読者の声など、  
ご感想お待ちしています。

声かける散歩に行こうトイレまで  
夏がきてうす着気になりダイエット  
誕生日携帯メールで感謝状  
足元をちゃんと見てから座ろうね  
(ママーオオラブ)  
認知症明日は我が身と心配す  
(雨隆江)

## 雑談(川柳)

## 編集後記

▼今号は「第11回日本高齢協連合会(福岡総会)」「高齢者フェスティバル」と「第13回総代会」の特集号です。その内容を出来る限りお伝えしようと心がけました  
が限りある紙面、どうだつたでしょうか。皆様の評価のほどは??

▼六月中に三大行事を担当した本部事務局職員一同、昨年から当日までのその準備たるや超多忙、組織の拡大発展は事務局体制の良し悪しにかかっていると言つても過言ではありません。事務局は当生協の要(かなめ)であり誇りです。

▼五月十日に開催の編集委員会で、長年の懸案であつた広報誌の隔月会(年六回)発行を決定、五月の理事会で承認されました。委員会が本部事務局を巻き込んで、これまで以上に多忙になることは目に見えていますが、組織の強化発展の為には避けでは通れない大きな課題(リスク)でありました。

▼「ひやくさい」は読者が参加して作る唯一の広報誌です。皆様からの投稿や読者の声など、ご感想お待ちしています。

次号は九月発行予定です。